厚労省 15年度の概算医療費41兆円

厚生労働省は9月13日、 C 2015年度の医療保険と公 的負担医療分を合わせた概 算医療費を公表した。前年 炎薬 度に比べて3.8%増の41兆 4627億円と40兆円を突破 した。特に調剤医療費(電 が 算処理分)は、C型肝炎治 療薬の抗ウイルス剤など化 剤 学療法剤の伸びが薬剤料を 押し上げた結果、9.3%増 の7兆8192億円と大幅に 上 伸長し、8兆円に迫る勢い げ を見せた。

厚労省の分析では、医療 費の伸び率のうち、C型肝炎治療薬 などの高額薬剤が1%程度影響した としており、医療費増と高額薬剤の 関係が見て取れた。

医療費の内訳を見ると、入院が 1.9%増の16.4兆円、入院外+調剤 が5.4%増の22.1兆円となった。電 算処理分の調剤費の内訳は、薬剤料

が11.3%増の5兆9783億円、技術 料が3.8%増加し1兆8283億円に達 した。薬剤料を詳しく見たところ、 薬剤料は9.2%増の7299円と大幅に 伸長した。そのうち、内服薬の処方 箋1枚当たり薬剤料の伸び率9.8% の要因を分析すると、1種類1日当 たり薬剤料が8.6%と大きく伸びて いることが影響していた。

内服薬の薬剤料の総額を薬効分類 別に見ると、C型肝炎治療薬「ソバ ルディ」「ハーボニー」など高額薬 剤の登場を背景に、抗ウイルス剤を 含めた化学療法剤が4751億円と前 年度に比べて約3000億円、249.1 %増と約2.5倍の伸びを見せた。

大手薬局チェーンの日本 Н 調剤は、東京文京区内で薬 局2店舗を展開する合同会 社水野を買収した。日本で 最初の調剤薬局として知ら れる「水野薬局」を経営し、 業界最先端とされるICT を活用した効率的な店舗運 営などへの取り組みが知ら れるが、日調の傘下入りを 決断した。

日調は、長年の歴史で培 われた水野薬局の運営ノウ ハウを既存店舗に活用する ことにより、大きなシナジ 一効果を見込んでいる。

水野薬局は1909年に開局し、医 薬分業の先がけとして、64年には 日本で初めての調剤薬局「水野調剤

薬局」を開設。80年代には薬歴の IT化推進に着手するなど、先進的 な薬局業務を追求してきた。2015 年11月期の売上高は27億8800万円 と黒字経営を維持しているが、水野 善郎社長は「昨今の薬歴未記載問題 に対する業界団体の対応に疑問を覚 えた」とし、「社会的にもコンプラ イアンス責任を持つ公開企業の日調 に水野薬局ブランドをお任せするこ とにした」と理由を説明した。

一方、日調の三津原庸介常務は、 記者会見で、業界最先端のICT、 高度薬学管理機能強化、薬局業界で の高いブランド価値のシナジーを強 調した。今回の水野薬局の買収に関 しては「店名、システムは当分の間、 変更はない」としているが、水野薬 局の経営陣は全員退任し、日調から 役員を派遣するほか、両社のノウハ ウを活用するため、相互の人事交流 などを検討していくことにしてい る。さらに、水野薬局が加入してい る薬剤師会、日本保険薬局協会に関 しては、引き続き加盟を継続すると いう。



みなさんこんにちは。栃木県で病院薬 剤師をしています青島周一と申します。 僕は薬の調剤や患者さんへの服薬説明の ほか、"薬の効果"について医師に情報提 供しながら処方支援を行っています。薬 の効果については、皆さんもたくさん勉 強されていると思いますが、ひとえに「効 果」と言っても様々な考え方があります。

例えば、薬理学の教科書には糖尿病治 療薬の1つ、シタグリプチンの作用機序 が書いてあるかと思います。いわゆるD PP-4阻害薬という薬剤ですが、その 名の通り、ジペプチジルペプチターゼ-4 (DPP-4) を阻害し、インクレチ ン濃度を上昇させることでインスリン分 泌を促し、血糖値を下げると言われてい ます。こうした薬理学的な観点からする と、シタグリプチンの効果は血糖値を下 げる効果ということができるでしょう。

ところで、自分がシタグリプチンを飲 むことになったとして、一番気になる薬 の効果とは何でしょうか。血糖値が下が ればそれで十分でしょうか。糖尿病の治



医療法人徳仁会中野病院薬局

周

か 5 話をし 薬 **D**

薬の"効果"を考える

療目的をあらためて考えてみましょう。 糖尿病患者さんは、そうでない患者さん に比べて、腎障害、神経障害、網膜症、 あるいは心血管疾患のような合併症が発 生しやすい状態です。つまり、糖尿病の 治療はこれらの合併症を予防するために 行われるのであって、血糖値を下げるこ とは手段でしかありません。

"人の将来にどのような影響を及ぼし ていくか"という薬の予防的効果を知る ためには薬理学的知見だけでなく、臨床 医学に関する論文情報を知る必要があり ます。シタグリプチンは2型糖尿病患者 さん1万4671人を対象にした臨床試験 が行われており、心血管合併症に対する 効果はプラセボとほぼ同等だったという 衝撃的な論文が報告されています [PM ID: 26052984] *

同様の報告はサキサグリプチン[PM ID:23992601]、アログリプチン[P

MID: 23992602] でもなされており、 DPP-4阻害薬の合併症予防効果は現 段階で証明されていません。

それにもかかわらず、DPP-4阻害 薬はメトホルミンと並びわが国で最も多 く使用されている薬剤なのです [PMI D: 27549920]

糖尿病治療に限らず、合併症予防とい う観点からすれば、著明な効果を有さな い薬剤が、実際には数多く使用されてい るという現実は確かに存在します。この ような状況がなぜ生じてしまうのか、と ても重要な問題ですが、それを話し出す と長くなりそうなので、また別の機会に したいと思います。

*PMIDとは、文献検索サイト PubMedが各論文へ割り振っている I D番号です。この番号をトップ画面の 検索窓に直接打ち込むと、対象論文の 抄録にアクセスできます。

